

教育委員会
だより

入野小学校

「心豊かでたくましく、自ら考え行動できる子どもの育成」を目指して

校長 筒井 広実

【はじめに】

平成22年度の入野小学校は、1年生28人、2年生30人、3年生27人、4年生27人、5年生21人、6年生30人。全校児童数は、男子85人、女子78人の計163名です。学級数は、9学級(うち特別支援学級が3学級)です。(10月1日現在)

【めざす学校像】

- 明るく、生き生きと活動する学校
- 学び合い、励まし合い、協力し合える学校
- 一人ひとりを大切にしている学校
- 規律のある美しい学校

【めざす児童像】

- よく聞き、よく考える子
- 自分も友だちも大切にしている子
- 最後までやりぬく子

◆校内研修の充実
研究主題

『かわり合い・学び合う子ども』を育てる「言語活動の充実をめざす授業の創造」とし、全教員が公開授業を行い授業改善に向けて取組を行っています。また、研究授業としては、全学年外国語活動の授業を行い、来年度から完全実施となる5・6年生の外国語活動の円滑な実施に向けて研究を深めています。

また、今年度は研究組織を見直し、授業研究部、基礎学力・学力分析部、児童理解部の3部会で取組みを行っています。

児童理解部では、子どもたちの声を吸い上げるために「気持ちポスト」を設置したり、生活・いじめアンケートを実施したりして子どもたちの状況把握と豊かな心の育成に努めています。

【高知県教育委員会指定
小学校外国語活動推進事業】

今年度も昨年度に引き続き、小学校外国語活動推進事業(県指定)の指定受け、年間35時間の外国語活動にも取り組んでいます。来る11月30日には

鳴門教育大学准教授兼重昇先生をお迎えして研究発表会を行いました。5・6年生の公開授業と・分科会・講演を行う予定ですので、保護者・地域の皆様もたくさんご参加いただきたいと思います。

【基礎学力定着の取組】

基礎基本の定着を目指して次のような取組みを行っています。

◆計算・漢字朝会

毎週火曜日と金曜日の朝の10分間で取組みを行っています。わずか10分間の取組みですが、一年間続けることのできる力が付いています。

◆チャレンジタイム

毎週月曜日には全学年が1時間チャレンジタイムを行っています。1学期は、授業時間の確保のために授業の補充を行っています。2学期からは、算数や国語を中心にプリント学習を進めています。

高学年では、この時間に学びの教室を利用して自分のペースにあったプリントを選び、自学自習に取り組んでいます。

◆くろしおタイム

1・2・3年生は週1回、4・5・6年生は週2回、放課後の30分間を活用して国語の読解プリントや算数プリントに取り組んでいます。管理職を含め全職員で取り組んでいます。

◆読書タイム

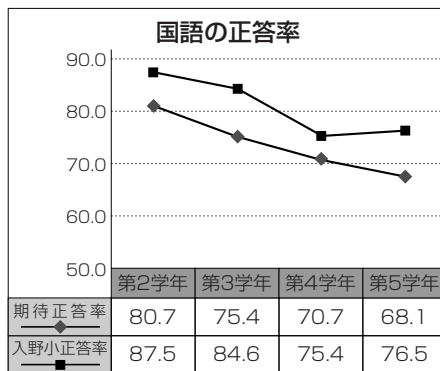
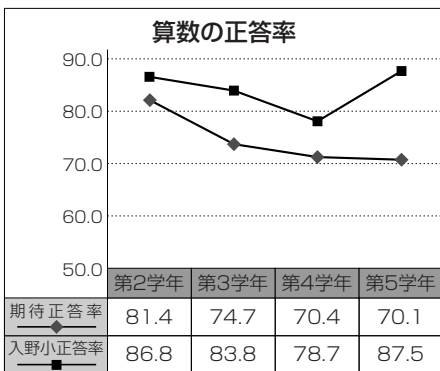
今年度も、掃除の後の10分間を読書タイムとして取組みを進めています。年度当初に各学年の必読書を設定し、読み切ることを目標に進めています。また、毎週水曜日には、読み聞かせのボランティアの方が訪問してくれています。子どもたちは、水曜日を楽しみにしています。

◆標準学力調査の結果より

今年度の標準学力調査の結果も、全学年期待正答率を上回った結果となっています。しかし、細かく分析を進めてみると、国語科において「書くこと」において弱さがあることがわかりましたので、次のような取組みを進めています。

○条件をつけて書くことに慣れさせる。

- マス目の用紙(50字・100字・150字)を活用して文を書く。
- その際に、理由や根拠を入れて書かせる・例を示して書かせる・接続詞を使って書かせる等。
- ノートに貼って残す。
- 教科に限らず、いろいろな場面で書かせる。



上川口小学校

『学ぼう・伝えよう・高め合おう』

校長 柳川 雅史

【はつめい】

本年度は、新入生6名を迎え、児童数39名（内1名は途中で転校）単式学級4、複式学級1（2・3年）の5学級でスタートした。

本校の児童は、あいさつは比較的良くできるし、学年に關係なく仲良く遊ぶことができる。また、素直で真面目な子どもたちであるが、自主的に何かをするといったことに弱さがあり、どうしても指示待ちという状況が多く見られる。自分で状況判断ができ、自主的に進んで活動のできる児童、人前で自分の思いや意見を堂々と発表できる児童を育てたいと考えている。

校内研究の主題を、昨年に引き続いて「自分の考えや思いを生き生きと表現できる児童の育成を目指して」として、発表力（表現力）を更に身につけさせるために、発展・充実させた取り組みを実践していきたい。

◆発表力（表現力）を高める取り組み

●音楽朝会

毎月1、2回実施し、音楽祭前には集中的に実施する。美しく響のある歌声を目指し、歌う姿勢作りから、発声練習・発音練習にも計画的に取り組む。

●朗読朝会

各学級が学期に一度、教科書や作文をみんなの前で読む。すらすら読めること、大勢の前でも堂々と表現できることを目指す。

●合同総合集会

普段の学習で発表活動にまで発展させられる内容は、全体の場で発表する。年間8回（4回は保護者や地域に公開）計画し、発表力・表現力を養う。

●授業に発表（表現）活動を意識的に組み込む

単に答えだけの発表にならず、結論に至った経過をみんなに分かるように説明する授業を実践する。

◆学力育成のための取り組み

●チャレンジタイム

「数と計算」の領域を中心に、水曜日を除く毎日、児童一人ひとりが自分の進度に応じたプリント学習を続けている。学年により漢字プリントも実施する。

●学習の手引き

児童が自力解決できる手助けとなるよう、国語科と算数科において「一人学習の手引き」を作成し、家庭での活用を奨励する。

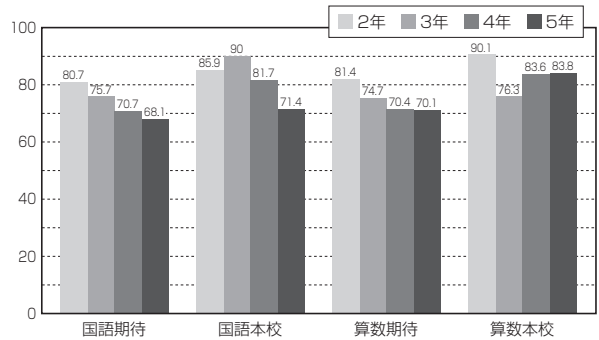
●日々の授業実践・授業改善

一時間一時間の授業を大切にして、授業のめあてを明確にし、授業実践を展開する。また、二つのパターンのどちらかで授業研を実施し、授業改善に繋げる。

①指導主事参加による指導案検討・授業研・授業反省

②教員が児童役となり行う模擬授業・指導案検討・授業研・授業反省

平成22年度標準学力調査正答率



4月に実施された標準学力調査においては、全ての学年で期待正答率を上回っている結果であった。しかし細かく分析すると、算数では、四則計算にミスが多くあり、国語では、読み取る能力や漢字・言語の知識理解に弱さがあった。研究主題の取り組みに加え、読書を奨励するとともに、漢字小テストを継続的に行う。

◆特色ある教育の推進にかか
る事業への取り組み

①全校児童による年間2回の通学路清掃など、社会奉仕に関わる体験活動。

②上川口の老人クラブの方々の愛校作業、蜷川の老人

クラブの方々とのスポーツ交流、婦人部の方々との調理交流など、地域の皆さんとの交流活動。

③地域の皆さんとともに、作物作りをする勤労生産活動。

④老人ホームや障害者施設を訪問しての交流活動。

⑤上川口の山や川、そして海と親しむ自然体験活動。

このような取り組みを行うことで、地域の自然や人のすばらしさを実感し、人や自然に対する優しさや豊かな感性、地域を愛する心を育てたい。また、交流を通して豊かな社会性や人間性も育てたい。

そして、保護者・家族・地域の方々に、学校へ気軽に足を運んでもらえる、そんな「地域の中の学校」でありたい。



大方中学校

『心豊かで、たくましく、
意欲をもって学ぶ
生徒の育成』

校長 岡崎 哲也

【はじめに】

本校は、学級数8クラス、生徒数193名、教職員数22名で、教育目標は『心豊かで、たくましく、意欲をもって学ぶ生徒の育成』です。生徒一人ひとりが大切にされ、明るくのびのびと過ごせ、それぞれの夢や目標に向かってしっかり頑張れる学校を目指し「集団づくり」「学力向上」を大きな柱として、日々取り組んでいます。その中の幾つかの取り組みを紹介します。

【集団づくり】

生徒たちは、なかまの中で関わり合い・認め合い・支え合う中で、個人としても、集団としても高まります。その結果、安心・安定した学校生活を送れるようになると考えています。当然のことながら、教職員も一人ひとりの生徒としっかり向き合い、子どもたちの不安や思いをしっかり受け止め、安心・安定した学校

生活となるよう取り組んでいます。

◆生徒一人ひとりに寄り添う
生徒支援・生徒指導



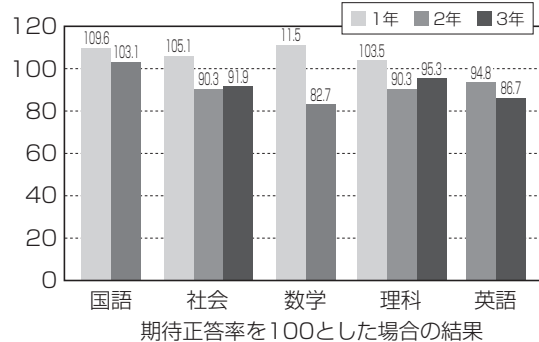
大学教授を招聘しての校内研修

生徒に対してさまざまな生活実態調査を行っています。温かい学級づくりを目指した「QU調査」、学校組織が生徒支援にかかわって効率よく機能しているかを見る「学校風土調査」、生徒一人ひとりについて、学習・進路・学校生活・友人・家庭生活・心とからだなどさまざまな内容を開き、教育相談に役立てる「Q調査」。今までも、生徒一人ひとりに向き合って相談を受けてきました。教師の主観だけでなく、調査結果による客観的な資料も活用することで、より確かなアドバイスを考えると思っています。

一人ひとりに対する支援や、組織的に支援する方法などを学びました。

【学力向上】

平成22年度標準学力調査（4月実施）



到達度標準学力検査の結果を分析すると、本校では活用力に課題があります。活用力をつけるための言語活動を取り入れた授業づくりを校内研修の柱として取り組んでいます。「学力をつける」このことは学校が責任を持つて取り組まなければなりません。少人数指導、大中タイム（基礎計算・漢字）放課後学習室、指導方法の工夫改善、家庭学習の点検と添削、生徒の学力向上につながる内容についていろいろと取り組んでいます。



言語活動を取り入れた事業

①基礎学力の定着と学力の向上

①少人数指導

3年生では、英語と数学の時間にクラスを半分に分割し、1クラス17・18名で授業を行っています。生徒一人ひとりに目を配ることができ、授業に積極的に参加する姿勢が見られるようになってきました。少人数指導ならではの効果が出てきています。

②放課後学習室

3年生を中心に、放課後2時間程度、3年間の復習を中心に勉強に励んでいます。今年も高校の時間講師の先生を指導者として、和やかな雰囲気の中で、目標とする進路実現に向けて学習しています。

③家庭学習の定着

生徒一人ひとりの基礎学力の定着と学力の向上には、家

庭学習が欠かせません。毎日の点検と添削で個々の学習時間も増えてきています。

②教職員の資質・指導力向上

スクールカウンセラー、エキスパート、学習指導員、ALTなど、専門の皆様が協力頂いています。生徒の悩み相談や支援のみならず、宿題の添削、授業についての助言など、教職員の資質・指導力の向上にも繋がっているように思います。

【生徒が主役】

2学期は運動会・文化祭が開催され多数の皆様にご参観いただくことができました。生徒たちの輝いている笑顔が素敵でした。生徒全員が心を一つにして歌いきった合唱、力強い歌声が体育館中に広がりました。



3年生の学年合唱